

## 6-1 飛驒地方の最近の地震活動（1992年5月～1992年11月）

### Recent Seismic Activity in the Hida District (May–November, 1992)

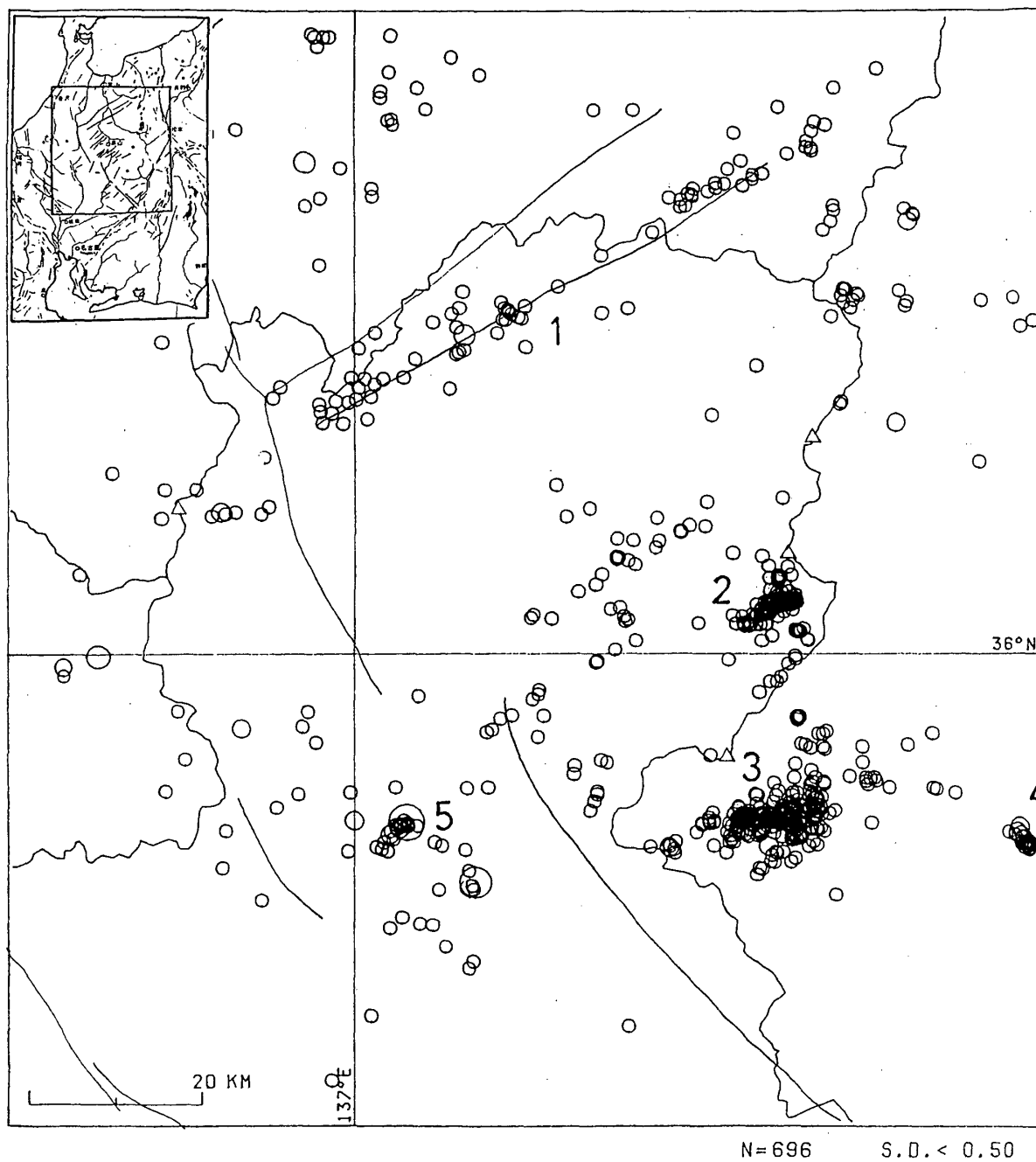
名古屋大学理学部 高山地震観測所

Takayama Seismological Observatory  
School of Science, Nagoya University

第1図は、この地方における最近6カ月間の地震活動状況を示したものである。図中の番号に対応した、主な活動は次の通りである。

- ① 跡津川断層沿の活動であり、顕著な線状配列がみられる。
- ② 1986年3月以来、飛驒山脈の乗鞍岳南方に継続して発生している群発活動である。1990年のM4.4、M4.2以後、しだいに減衰しているが、昨年と同時期に比し、活発である。
- ③ 長野県西部地震の余震活動であり、この地方の最も活発な活動域である。
- ④ 長野県中部での活動で、図にはその西端部の1部が示されている。6月21日M4.1 (JMA)、6月23日M3.6 (JMA)の地震が発生した。これまで、ほとんど活動の見られなかった場所での地震であった。
- ⑤ 岐阜県中部地震（1969年M6.6）の余震域での活動で、6月8日M4.2、6月21日M3.6が主な地震であった。

MAY. 22 '92 - NOV. 7 '92



第1図 飛騨地方の震央分布 (1992年5月~1992年11月)

Fig. 1 Epicenter distribution in the Hida District (May–November, 1992).